

早めのライト 上向きライトで

安全性が アップ!

UP



「点ける」 広島県「ライト点灯運動」実施中



広島県警察・一般財団法人 広島県交通安全協会



なぜ、早め・上向きライトが必要？

歩行中、自転車利用中の死亡交通事故をみると、約6割が薄暮・夜間の時間帯に発生しています。歩行中の事故当事者の殆どは反射材を活用しておらず、車も殆どが下向きライトであり、発見の遅れが事故に繋がっている状況にあります。

交通事故を起こさないためにも、ドライバーの方は、薄暗くなったら、**早めのライト点灯、上向きライトの励行**で、安全性をアップさせましょう。



車・バイクのライトは上向きが基本です!!

対向車とすれ違う時や前に車両がいる場合の他は、ライトを上向きにしましょう。上向きライトにすると、下向きライトでは見えない危険を早期に発見することができます。交通事故を未然に防止することができます。

また、ライトの届く範囲に応じた安全速度での運転を心掛けましょう。

車・バイク

ライトを上向きにすると、視界が広がり、より早く危険を発見することができます。

また、早めのライト点灯で、他車や自転車、歩行者に自分の存在を早く知らせることができます。

下向き
ライト



約 40m



上向き
ライト



約 100m



- 対向車や前に車がいるときは、下向きライトにこまめな切り替えをしましょう。
- 歩行者・自転車を幻惑させないように、必要に応じて下向きライトへの切り替えをするなど、思いやり運転に努めましょう。

自転車

自転車も車両です。

夜間は、ライトを点灯しなければいけません。

進行方向の視界を確保するだけでなく、車や歩行者に自分の存在を早く知らせることができます。



車体や身の回り品に反射材用品等を取り付けておくと、更に効果的です。

歩行者

反射材や LED ライトを活用すると、車や自転車に自分の存在を早く知らせることができます。

薄暮・夜間に外出する際は、反射材の活用を習慣づけましょう。



いつも使用する靴や鞆などの身の回り品に取り付けておけば、「持っ出てくるのを忘れた」ということがなく、夜道の安全が確保されます。